1分で読みとく成長国

読得 ヨミトク

No.70

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

2012年10月

情報提供資料

持続可能な経済成長を支えるインフラ投資

経済成長を安定的に持続させていくためには、テクノロジーの進化、政治体制や経済政策の改善・向上に加え、社会インフラの拡充といった“成長の土台（経済基盤）”の整備が重要な役割を果たします。このため、急速な経済発展を遂げつつある成長国＊1では、近年様々なインフラ計画が進行中です。

例えば中国では、２０１２年９月上旬に中国国家発展改革委員会が、地下鉄や高速道路などのインフラ整備に約１兆元（約１２.５兆円）規模の公共投資を認可しました。これを受けて規制当局も銀行に対し、鉄道や高速道路整備をはじめとする主要プロジェクトへの融資拡大を指示し、インフラ計画が活発化しています。

また、２０１４年のサッカー・ワールドカップと２０１６年のオリンピック開催を控えたブラジルでも、インフラ計画に注目が集まっていますが、現在、各所で進行している高速道路や鉄道、エネルギー関連事業などの約６３兆円＊2に及ぶ大規模なインフラ整備は、広大な国土を持つブラジルにとって、経済発展を進めるためにもともと必要な取り組みといえます。持続的な経済成長に歩みを進めるブラジルにとって、こうしたイベント関連事業への投資額は計画全体の一部にしか過ぎないのです。

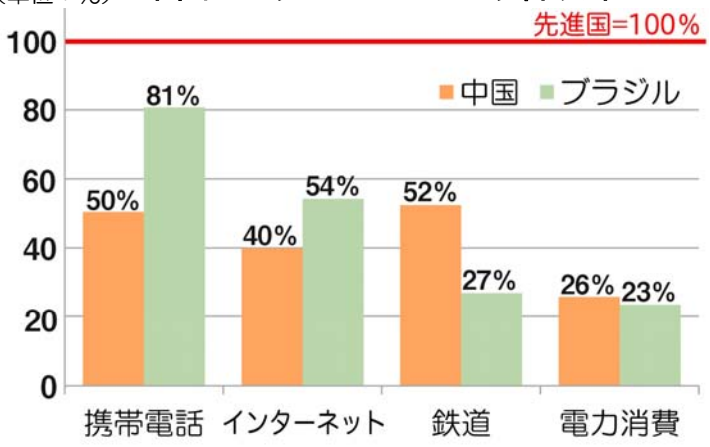
このようにインフラ投資が進展し、産業の生産性が高まることで、成長国の経済成長は今後さらに加速すると予想されています。

＊1「成長国」とは、ゴールドマン・サックスが提唱する今後世界経済の成長を牽引するであろう8ヵ国(ブラジル、ロシア、インド、中国、韓国、トルコ、メキシコ、インドネシア)を指す。

＊2「第二次経済成長加速化計画：PAC2」における投資予定額。2012年10月24日現在1レアル＝39.5円で円換算。

（単位：%）

中国とブラジルのインフラ普及率



（出所）世界銀行、GSグローバルECS調査部
2009年のデータに基づき算出

ブラジルの高速鉄道計画

（出所）国土交通省

成長国について詳しくはこちらから www.gsam.co.jp

Goldman Sachs Asset Management

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、信頼できると思われる資料に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合もあります。個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、あくまで例示をもって理解を深めていただくためのものであり、当該個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等を推奨あるいは勧誘するものでもありません。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(Ⅰ)複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(Ⅱ)再配布することを禁じます。<審査番号：84896.OTHER.MED.OTU>

© 2012 Goldman Sachs. All rights reserved.